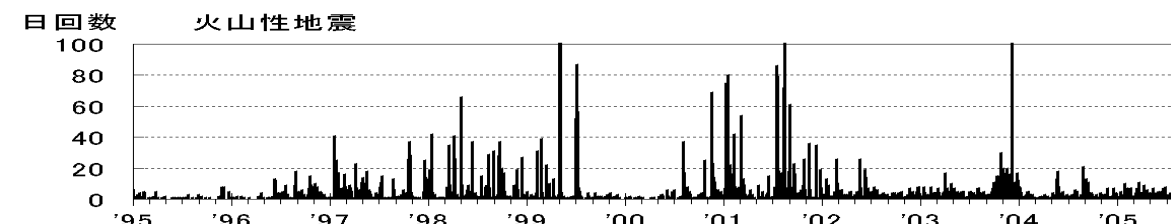
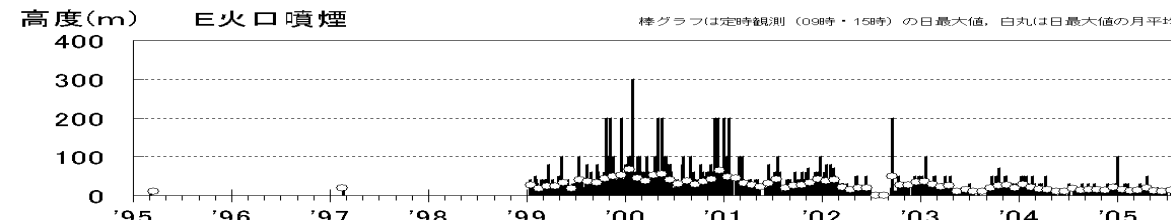
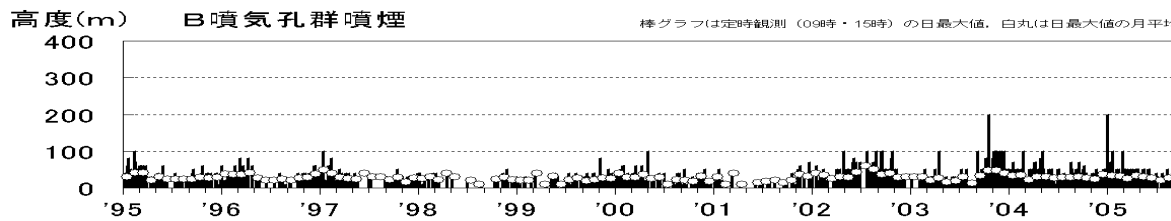
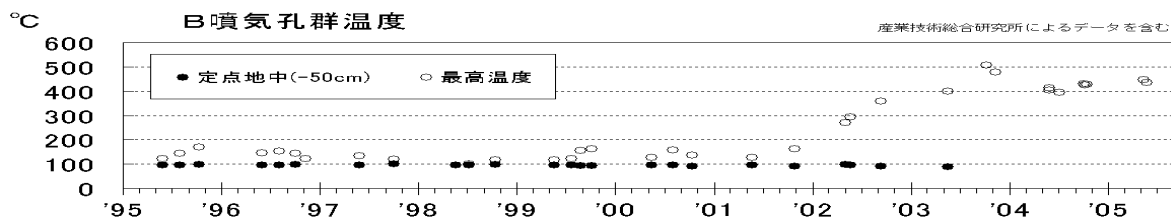
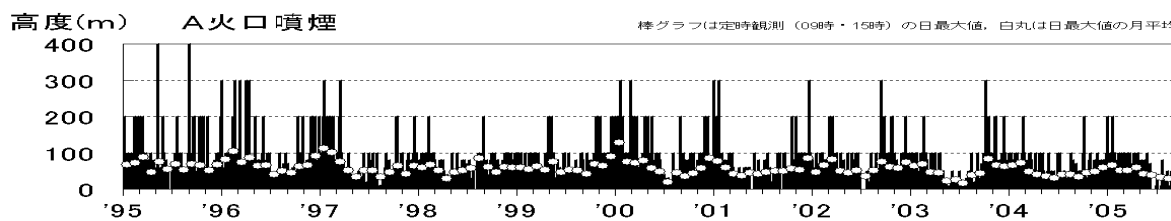
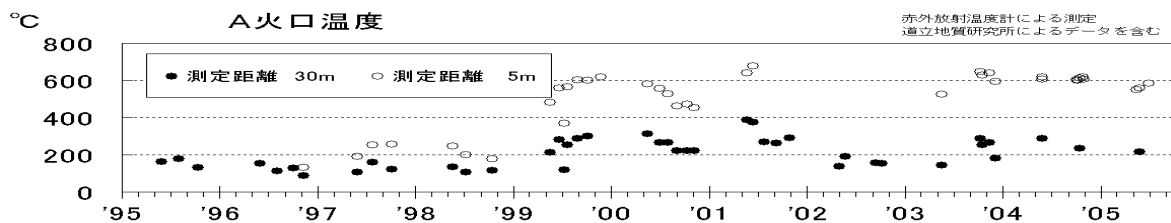


樽前山

1 概況

A 火口及びB 噴気孔群の噴煙の状況に特に変化はみられていないことから、これらの火口の熱的な活動にも大きな変化はなく、高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。



最近の火山活動経過図（1995年1月1日～2005年9月30日）

2 噴煙の状況

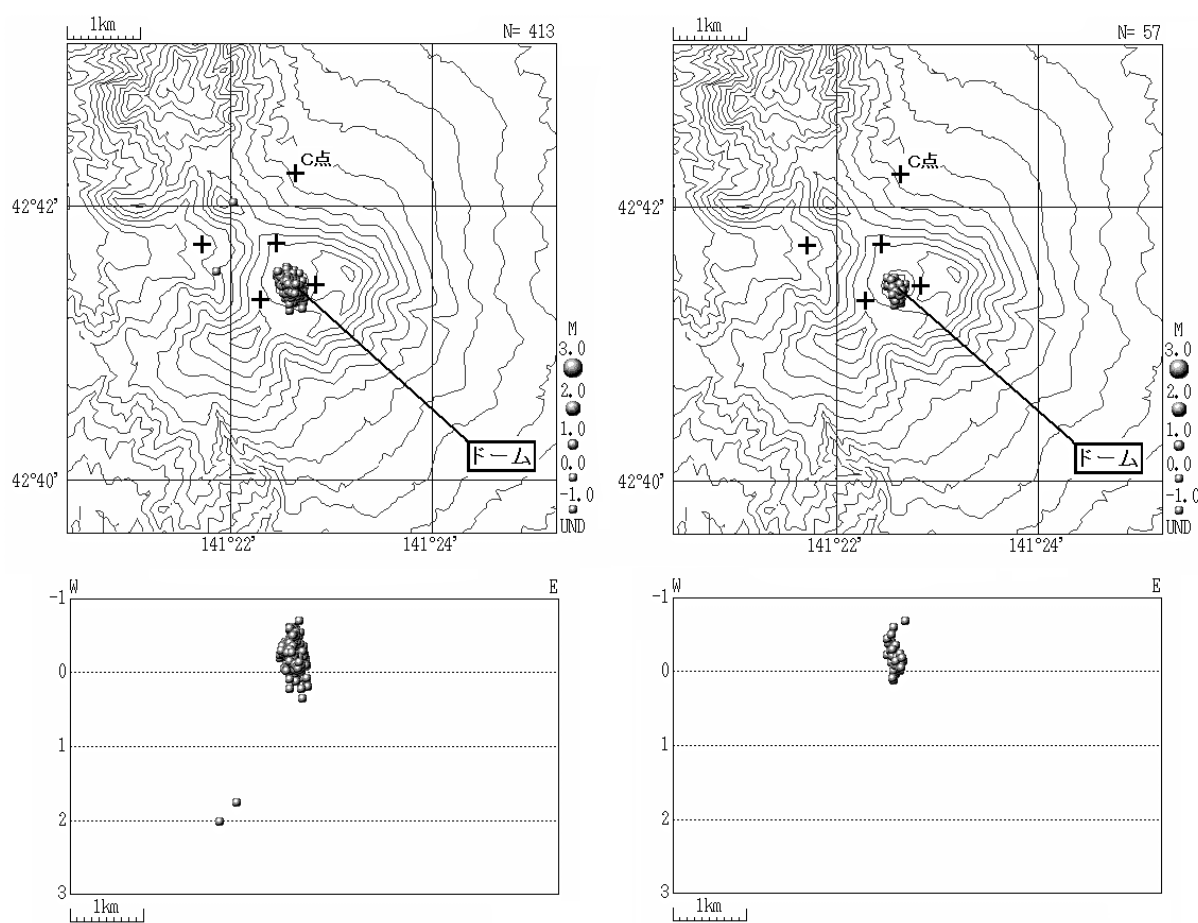
各火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m 以下で推移しました。

3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 1 日あたり 0～10 回とおおむね平常レベルで経過しました。震源のほとんどはこれまでと同様、山頂火口原浅部に分布していました。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数（C点）

2004～2005年	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地震回数	24	39	25	55	59	77	62	46	75	33	46	50
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



樽前山の震源分布図（丸印：震源、+印：地震観測点）

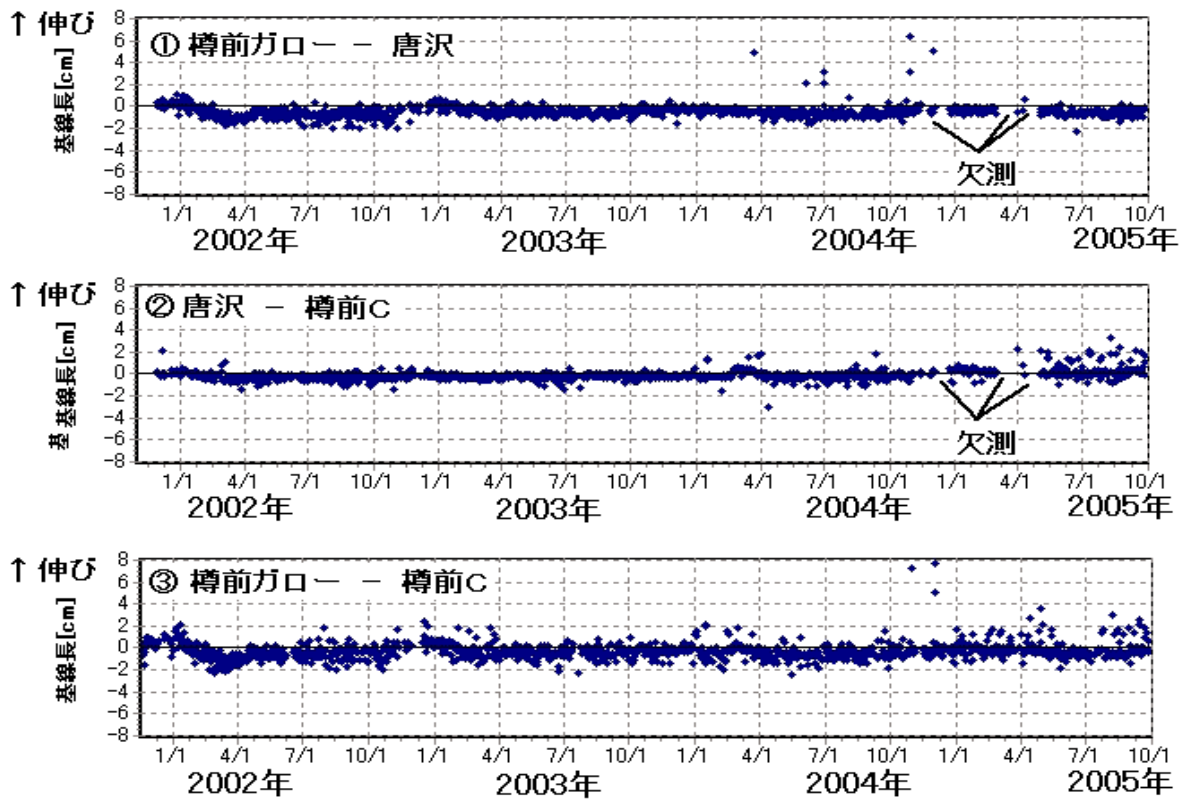
右図は今期間（2005年9月1日～30日）に求めた震源を示しています。

左図は前期間までの11ヶ月間（2004年10月1日～2005年8月31日）に求めた震源を示しています。

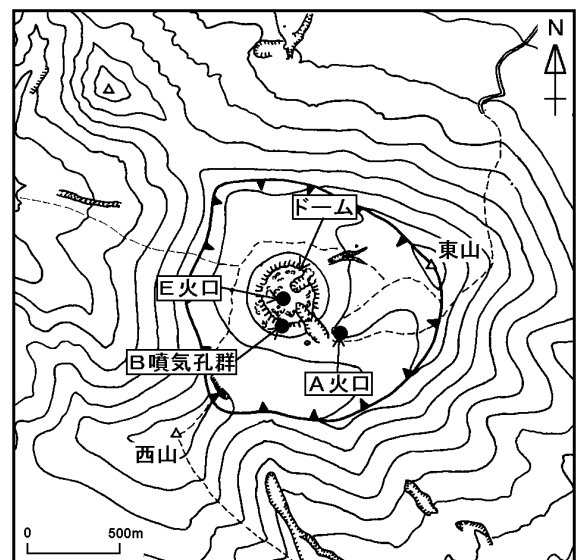
震源は山頂ドーム直下の海面付近に集中し、ドームの北西及び西約 1.5km 付近のやや深いところ（海面下約 2km 前後）にも分布が見られます。今期間の震源は、山頂ドーム直下の浅部に分布しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は認められません。



基線長変化(2001年11月14日~2005年9月30日)



樽前山山頂火口原図